

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	丸山 孝幸
	全体計画						経費区分		-		内線	3 5 2 3
事務事業名	4229 公園管理事業											
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課											
施 策	06023100 良好な景観要素の保全と育成の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080403 土木費・都市計画費・公園事業費										
	事業	010000 公園管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
公共施設としての安全性と利便性を確保し、親しまれる公園づくりを推進する。						市民の安らぎと憩いの場として、魅力ある公園・緑地づくりを行う。 幼児から高齢者の各年齢層の誰もが、公園等を安全に利用するため、遊具等の計画的な点検、修繕及び新設を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
職員による毎月の日常点検、専門業者による年1回の定期点検を実施。また、劣化等による更新。 併せて、樹木枯枝の整枝剪定、公園、砂場の清掃の実施により安心して利用できる公園とする。	職員による毎月の日常点検、専門業者による年1回の定期点検を実施。また、劣化等による更新。 併せて、樹木枯枝の整枝剪定、公園、砂場の清掃の実施により安心して利用できる公園とする。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	公園遊具の更新数				
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	20	20	20	20	20
実績					
指標選定の理由	安心・安全な公園とするため、職員による日常点検、専門業者による定期点検を実施し、劣化した遊具を更新する。				
最終年度目標の根拠	年1回の専門業者による定期点検より、総合判定基準の低い遊具を定期的に修繕（更新）をしていく。				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値					
実績					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値					
実績					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		5,663	5,781
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	71	770
一般財源		5,592	5,011
人員数(人)	正規職員	1.0	0.9
	嘱託職員	0.4	0.6
	臨時職員	0.2	0.0
人員コスト	正規職員	7,208.0	6,487.2
	嘱託職員	1,082.0	1,623.0
	臨時職員	206.0	0.0
	計	8,496.0	8,110.2
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		14,159.0	13,891.2

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	12	育成会への街区公園(8公園)の管理費
11節 需用費	1,419	公園の遊具、トイレ、フェンスの修繕
13節 委託費	2,414	公園遊具の点検、砂場の清掃、公園の清掃、整枝剪定の委託
15節 工事請負費	767	公園遊具・施設の設置、改修
19節 負担金補助及び交付金	550	河東線記念公園の整備に伴う負担金
その他	501	公園土地借上料、原材料購入

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	12	育成会への街区公園(8公園)の管理費
11節 需用費	1,615	公園のトイレ、フェンスの修繕
13節 委託費	2,732	公園遊具の点検、砂場の清掃、公園の清掃、整枝剪定の委託
15節 工事請負費	900	公園遊具・施設の設置、改修
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	522	公園土地借上料、原材料購入

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市民の安らぎと憩いの場として、魅力ある公園・緑地づくりに努めている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	幼児から高齢者の各年齢層の誰もが、公園等を安全に利用するため、遊具等の計画的な点検及び修繕、砂場の清掃の実施により安心して利用できる公園づくりに努めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	施設の通常管理に対する助成制度が設けられていない。 公園の遊具の更新に対する助成制度はあるが、公園施設の長寿命化計画の策定など課題がある。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

公園の数が多く、各施設とも経年劣化による修繕が必要となることから、修繕費用が多額になってくる。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

市民が安心して利用できる公園の維持管理を今後も継続して行う必要がある。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

誰もが安全に安心して利用できる公園として、継続して施設の点検、修繕を行っていく

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--